

令和元年度「県立学校による地域との協働推進事業」実施報告書

番号	10	学校名	大和中央高等学校
----	----	-----	----------

1. 取組名 通信制課程の魅力発信及び地域貢献プロジェクト

2. 活動内容

各種の協働推進事業から順慶まつりについて報告する。

5月から地域の方を講師にお招きし、学校設定科目のスクーリング時間や生徒会活動で、地域の祭りである「順慶まつり」に向け準備を行い、当日参加することで、本校と地域と連携を深める活動を行っている。

祭り当日の内容は次の通りである。

(1) 学校設定科目「生活文化の伝承A」

スイーツのお店を出店し、奈良県の伝統野菜を使った焼き菓子を販売

(2) 学校設定科目「生活文化の伝承B」「奈良TIME」

自分たちで作った段ボール甲冑を身に着け時代行列参加

(3) 生徒会

① 金魚の形をしたお菓子釣りを出店

② ゴミステーションの運営



3. 成果と課題

「順慶まつり」に参加するようになって4回目になる。年々地域の方々の温かさと期待感を実感している。今年度参加した生徒たちからも「みんなで声を掛け合いながら協力してクッキーを売ることができた」「すごく暑くて大変だったけど、子供たちにありがとうと言ってもらえて嬉しかった」などの感想があり、生徒たちにとってコミュニケーション力や自尊心を育成していくためよい体験になっている。昨年度課題にあげたゴミステーションも2回目になり、地域の方々の協力で昨年苦労したジュース、ビールの飲み残しと残飯処理がスムーズに行えた。

今後の課題の一つは猛暑対策である。9月第2日曜に行われる祭りのため、参加生徒や先生方の体調管理が難しい。もう一つは参加者が年々増加しているため、新たな参加方法や体制づくりを考える必要が出てきた。

4. 次年度に向けて（担当者の感想を含む）

本校でも、準備のための時間量や当日参加するための体制など、手探り状態から徐々に整ってきた。今年は猛暑であったが、生徒たちは誰一人体調を崩すことなく、大変よく頑張ってくれた。今後の継続を考えると順慶まつり参加教科とそれ以外の教科のバランスを考える時期になってきたように思える。